

# 運用報告書（全体版）

第3期

（決算日：2018年6月18日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（設定日：2016年12月29日）
運用方針	この投資信託は、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要運用対象	主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」及び「FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額の範囲は経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配対象額については委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## SBIスリランカ短期国債ファンド （年2回決算型）

追加型投信／海外／債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIスリランカ短期国債ファンド（年2回決算型）」は、2018年6月18日に第3期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。  
<http://www.sbiam.co.jp/>

 **SBI** Asset Management

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		期中騰落率	投資信託 組入比率	純資産 総額
		税込み 分配金	期騰落			
(設定日) 2016年12月29日	円 10,000	円 —		% —	% —	百万円 142
1期(2017年6月19日)	9,586	100		△3.1	98.2	280
2期(2017年12月18日)	9,917	200		5.5	97.5	250
3期(2018年6月18日)	9,565	200		△1.5	98.8	245

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。また、期中騰落率は、各期末の基準価額（税込み分配金含む）を前期末基準価額（分配落）で除して算出したものです。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドは主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

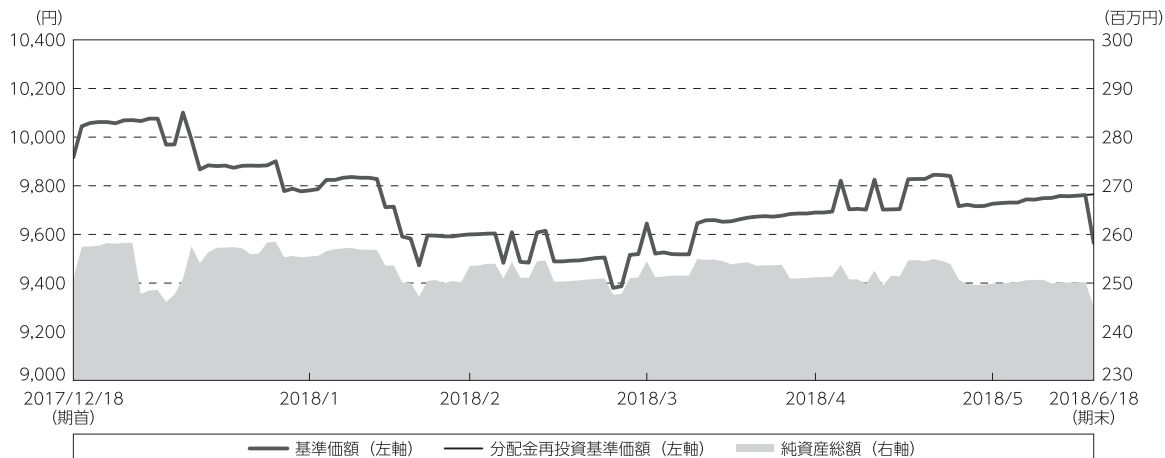
年月日	基準価額	基準価額		投資信託 組入比率
		騰落	率	
(期首) 2017年12月18日	円 9,917		% —	% 97.5
12月末	10,076		1.6	97.7
2018年1月末	9,781		△1.4	92.1
2月末	9,600		△3.2	94.6
3月末	9,645		△2.7	94.8
4月末	9,690		△2.3	95.4
5月末	9,726		△1.9	96.4
(期末) 2018年6月18日	9,765		△1.5	98.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2017年12月19日から2018年6月18日まで）

### ○基準価額等の推移



期 首：9,917円

期 末：9,565円（既払分配金（税込み）：200円）

騰落率：△ 1.5%（分配金再投資ベース）

- (注1) 当ファンドは主として「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首（2017年12月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、2018年1月中旬以降に米連邦準備制度理事会（FRB）による金融政策正常化によって米国債利回りが上昇し、また世界的に連動した流れを受け、スリランカ国債利回りも上昇（債券価格は下落）したことから下落しました。加えて、外国為替市場でも円高が進行したことから、その後も当ファンドの基準価額は緩やかな下落が続きました。しかしながら、4月以降には債券市場、外国為替市場共に落ち着きを取り戻したことにより上昇基調へと転じたことから、当ファンドの基準価額は期を通じて△1.5%下落（分配金再投資ベース）の9,565円で期末を迎えました。

## ○投資環境

※以下のコメントの内容は、SBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

### 【スリランカ国債市況】

期の前半は、食料品価格の上昇によりインフレ指標が上昇したことなどから、スリランカ短期国債利回りにはやや上昇圧力がかかりました。

期の後半は、スリランカ短期国債利回りは低下（債券価格は上昇）基調となりました。スリランカ政府が取り組んでいる財政赤字削減政策への期待感や、国内インフレ指標の鈍化などが利回り低下の要因となりました。

### 【スリランカ国債市況推移】



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成  
※国債利回りは2年国債利回りを使用しています。

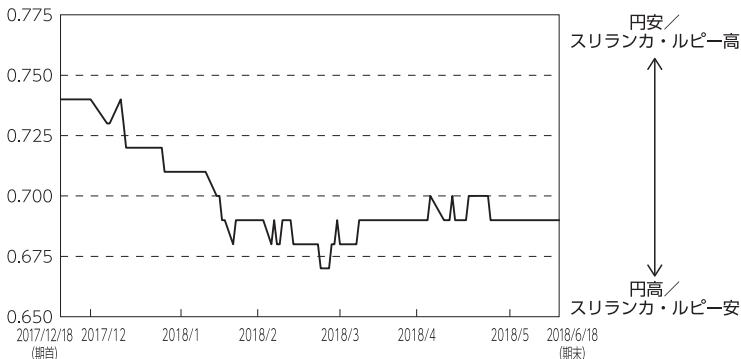
### 【為替市況】

期の前半は、円高基調となりました。北朝鮮情勢の緊迫化を受けたリスク回避の動きなどから、米ドルが円に対して下落しました。その影響を受け、米ドルと概ね連動するスリランカ・ルピーも円に対して下落しました。

期の後半は、円安基調となりました。米ドル/円が米金利上昇等を受けて円安基調となったことにより、米ドルと概ね連動するスリランカ・ルピーも円に対して上昇しました。

期を通じてみると、スリランカ・ルピーは円に対して下落しました。

### 【為替市況推移】



※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### <当ファンド>

主として「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

### <SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

スリランカの短期国債等（国債、政府保証債、政府機関債）及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

なお、直近5月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

#### ポートフォリオ構成

平均残存期間（年）	0.9
平均修正デュレーション（年）	0.8
平均クーポン（%）	10.13
平均直接利回り（%）	10.07
平均最終利回り（%）	9.54
平均格付け	B+

#### 資産別構成

債券（%）	93.8%
現金等（%）	6.2%

（注）現金等には信託報酬及び為替ヘッジに伴う含み損益等も含まれます。

（注1）平均格付とは、基準日時点での本ファンドの組入投資信託証券にかかる信用格付を加重平均したものです。そのため、本ファンドにかかる格付ではありません。

格付はS&P、ムーディーズ、フィッチの高いものを使用しています。

（注2）デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標です。金利変動に対する債券価格の反応度（リスクの大きさ）を表しています。なお、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。

（注3）最終利回りは、債券購入日から償還日までに得る受取利息や償還差損益（額面と購入価額の差）等、合計額が投資元本に対して1年あたりどの程度となるかを示すものです。

（注4）クーポンは額面金額に対する単年での利息の割合を表します。

（注5）平均直接利回りは平均時価単価に対する平均クーポンの割合です。

※上表については、SBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社の資料を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

### <FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは主としてSBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社が実質的な運用を行う「SBI bonds スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

## ○分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口(元本10,000円)当たり200円(税込み)の収益分配を行うことといたしました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2017年12月19日～ 2018年6月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	200 2.048%
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	174

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の見通しと運用方針

---

### <当ファンド>

引き続き、「SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

### <SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

当該投資信託を運用している、SBI ボンド・インベストメント・マネジメント株式会社は、以下のようにコメントをしています。

スリランカでは、経済成長率及びインフレ上昇率が沈静化してきております。また、財政再建化に向けた取り組みの結果、2017年は利払い費用等を除く基礎的財政収支（プライマリーバランス）が黒字となる見込みです。景気過熱感の払拭を確認したスリランカ中央銀行は4月4日の金融政策会合において、政策金利の上限を0.25%引き下げました。

債券市場においては、相対的に良好なファンダメンタルズを背景に、今後も海外投資家による継続的な資金流入が期待できることから、スリランカ短期国債利回りは安定的に推移することが見込まれます。

為替市場においては、米ドル／円に概ね連動するスリランカ・ルピー／円が、主に米ドルの影響を受けつつも、レンジ内で推移するものと見ています。

こうした環境下、短期的には為替市場の影響を受けて変動する局面も想定されるものの、長期的にはスリランカ短期国債の相対的に高いインカム収益を中心に、ファンドの収益が積み上がっていくことを想定しています。

運用においては、主にスリランカ現地通貨建て短期国債での運用を継続する方針です。また、残存年数が短くなった銘柄については、一部入れ替えによる長期化も図る予定です。

### <FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等（短期公社債及び短期金融商品を含みます。）を中心に投資を行います。

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年12月19日～2018年6月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 29	% 0.293	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 5 )	(0.054)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(22)	(0.226)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	30	0.303	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 8 )	(0.086)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 )	(21)	(0.218)	開示資料等の作成・印刷費用等
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	59	0.596	
期中の平均基準価額は、9,753円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2017年12月19日～2018年6月18日)

### 投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	SBI債券 スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)	口	千円	口	千円
		18,180,601	17,343	9,253,974	9,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。



## ○利害関係人との取引状況等

(2017年12月19日～2018年6月18日)

### 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
投資信託証券	17	17	100.0	9	9	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは株式会社SBI証券です。

## ○組入資産の明細

(2018年6月18日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
SBI債券 スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)	248,545,842	257,472,469	241,097	98.3
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	1,004,319	1,004,319	996	0.4
合 計	249,550,161	258,476,788	242,094	98.8

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## ○投資信託財産の構成

(2018年6月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	242,094	96.1
コール・ローン等、その他	9,892	3.9
投資信託財産総額	251,986	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年6月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	251,986,352
コール・ローン等	9,892,347
投資信託受益証券(評価額)	242,094,005
(B) 負債	6,832,300
未払収益分配金	5,126,237
未払解約金	199,678
未払信託報酬	741,265
未払利息	27
その他未払費用	765,093
(C) 純資産総額(A-B)	245,154,052
元本	256,311,851
次期繰越損益金	△ 11,157,799
(D) 受益権総口数	256,311,851口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,565円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>  
(貸借対照表関係)

期首元本額	252,979,232円
期中追加設定元本額	35,832,816円
期中一部解約元本額	32,500,197円

○損益の状況 (2017年12月19日～2018年6月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	8,076,885
受取配当金	8,083,427
支払利息	△ 6,542
(B) 有価証券売買損益	△10,364,575
売買益	760,504
売買損	△11,125,079
(C) 信託報酬等	△ 1,506,526
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,794,216
(E) 前期繰越損益金	1,693,633
(F) 追加信託差損益金	△ 3,930,979
(配当等相当額)	( 1,139,204)
(売買損益相当額)	(△ 5,070,183)
(G) 計(D+E+F)	△ 6,031,562
(H) 収益分配金	△ 5,126,237
次期繰越損益金(G+H)	△11,157,799
追加信託差損益金	△ 3,930,979
(配当等相当額)	( 1,139,204)
(売買損益相当額)	(△ 5,070,183)
分配準備積立金	3,331,145
繰越損益金	△10,557,965

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,570,359円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,139,204円)および分配準備積立金(1,887,023円)より分配対象収益は9,596,586円(1万口当たり374円)であり、うち5,126,237円(1万口当たり200円)を分配金額としております。

<ご参考>

主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用)
形態	国内投資信託
運用目的・ 運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>スリランカの短期国債等(国債、政府保証債、政府機関債)及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。</li> <li>債券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</li> <li>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。</li> <li>重大な投資環境の変化が生じた場合には、信託財産の保全の観点から、委託会社の判断により主要投資対象への投資を大幅に縮小する場合があります。</li> <li>資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への投資割合は、転換社債の転換及び新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。)の行使等により取得したものに限り、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li> <li>投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> <li>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。</li> <li>原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</li> </ul>
信託期間	原則として無期限(設定日:2016年12月30日)
決算日	毎月7日(休業日の場合は翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し年0.3888%(税抜:年0.36%)
委託会社	SBI ボンド・インベストメント・マネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

# SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2018年6月18日現在入手している最新（2017年11月7日現在）の状況です。

## （１）【貸借対照表】

	(単位：円)
	当期末末 (平成29年11月7日現在)
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	69,755,183
国債証券	993,252,383
未収利息	15,634,019
前払費用	5,701,885
その他未収収益	159,443
流動資産合計	1,084,502,913
資産合計	1,084,502,913
負債の部	
流動負債	
未払収益分配金	6,032,854
未払受託者報酬	26,623
未払委託者報酬	292,866
未払利息	200
その他未払費用	20,476
流動負債合計	6,373,019
負債合計	6,373,019
純資産の部	
元本等	
元本	1,096,882,590
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△ 18,752,696
（分配準備積立金）	7,331,947
元本等合計	1,078,129,894
純資産合計	1,078,129,894
負債純資産合計	1,084,502,913

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	当期間
	自 平成28年12月30日
	至 平成29年11月7日
営業収益	
受取利息	58,082,389
有価証券売買等損益	12,968,256
為替差損益	△30,734,402
その他収益	192,720
営業収益合計	40,508,963
営業費用	
支払利息	64,182
受託者報酬	267,418
委託者報酬	2,941,505
その他費用	2,352,004
営業費用合計	5,625,109
営業利益又は営業損失(△)	34,883,854
経常利益又は経常損失(△)	34,883,854
当期純利益又は当期純損失(△)	34,883,854
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は 一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)	1,590,113
期首剰余金又は期首欠損金(△)	—
剰余金増加額又は欠損金減少額	19,135,644
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は 欠損金減少額	19,135,644
剰余金減少額又は欠損金増加額	26,353,186
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は 欠損金増加額	26,353,186
分配金	44,828,895
期末剰余金又は期末欠損金(△)	△18,752,696

### (3) 有価証券明細表

#### 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄名	利率 (%)	償還日	券面総額	評価額	備考
国債証券	スリランカ ・ルピー	8.5 Sri Lanka 18 20180401	8.5	2018/4/1	400,000,000	395,078,800	
		8.5 Sri Lanka 18 20180601	8.5	2018/6/1	100,000,000	99,646,100	
		7.5 Sri Lanka 18 20180815	7.5	2018/8/15	200,000,000	193,865,800	
		10.75 Sri Lan 19 A 20190115	10.75	2019/1/15	150,000,000	151,875,000	
		10.6 Sri Lanka 19 20190701	10.6	2019/7/1	250,000,000	248,709,000	
		10.6 Sri Lanka 19B 20190915	10.6	2019/9/15	250,000,000	253,058,250	
	スリランカ・ルピー 小計				1,350,000,000	1,342,232,950 (993,252,383)	
合計						993,252,383 (993,252,383)	

(注1) 小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。

(注2) 合計金額欄の記載は、邦貨額であります。( )内の金額は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

#### 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入時価比率	合計金額に 対する比率
スリランカ・ルピー	国債証券 6銘柄	92.13%	100.00%

(注) 組入時価比率とは、純資産額に対する比率であります。

## ■ F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2018年6月18日現在入手している最新（第7期決算日（2017年9月25日現在））の状況です。

### ■ 1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2016年9月27日~2017年9月25日)		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は 9,952 円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
( 投 信 会 社 )	( 14 )	( 0.140 )	
( 販 売 会 社 )	( 1 )	( 0.011 )	
( 受 託 会 社 )	( 2 )	( 0.022 )	
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$
( 監 査 費 用 )	( 0 )	( 0.002 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	( 0.001 )	その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	14	0.142	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### ■ 組入資産の明細 親投資信託残高

	当 期 首 (前 期 末)		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
短 期 金 融 資 産 マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 4,029	千口 5,988	千口 5,988	千円 6,076

(注) 親投資信託の当期末における受益権総口数は7,606,795千口です。

## ■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
短期金融資産 マザーファンド	千円 6,076	% 99.9
コール・ローン等、その他	7	0.1
投資信託財産総額	6,083	100.0

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況 (2017年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	6,083,591円
コール・ローン等	7,283
短期金融資産 マザーファンド(評価額)	6,076,285
未 収 入 金	23
(B)負 債	4,340
未 払 信 託 報 酬	4,236
そ の 他 未 払 費 用	104
(C)純 資 産 総 額(A-B)	6,079,251
元 本	6,115,034
次 期 繰 越 損 益 金	△35,783
(D)受 益 権 総 口 数	6,115,034口
1 万口当たり基準価額(C/D)	9,941円

## ■損益の状況 (自2016年9月27日 至2017年9月25日)

項 目	当 期
(A)有 価 証 券 売 買 損 益	△3,884円
売 買 損	△3,884
(B)信 託 報 酬 等	△7,784
(C)当 期 損 益 金 ( A + B )	△11,668
(D)前 期 繰 越 損 益 金	△8,372
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	△15,743
( 配 当 等 相 当 額 )	(199,608)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△215,351)
(F)計 (C+D+E)	△35,783
(G)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 ( F + G )	△35,783
追 加 信 託 差 損 益 金	△15,743
( 配 当 等 相 当 額 )	(199,661)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△215,404)
分 配 準 備 積 立 金	95,831
繰 越 損 益 金	△115,871

(注1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。



当ファンド（FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「短期金融資産マザーファンド（第10期決算日（2017年9月25日現在））」の組入資産の内容等の状況

## ■1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2016年9月27日~2017年9月25日)		
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.001	(a) その他費用 = $\frac{[\text{期中のその他費用}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(そ の 他)	( 0)	(0.001)	
合 計	0	0.001	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■組入資産の明細

### <国内(邦貨建)公社債>

#### (A) 債券種類別開示

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券	300,000	300,946	3.9	—	—	—	3.9
(含む投資法人債券)	( 300,000)	( 300,946)	( 3.9)	( —)	( —)	( —)	( 3.9)
合 計	300,000	300,946	3.9	—	—	—	3.9
	( 300,000)	( 300,946)	( 3.9)	( —)	( —)	( —)	( 3.9)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) ( )内は非上場債で内書きです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

#### (B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	当 期 末	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券 (含む投資法人債券)					
第414回中部電力株式会社社債	2.7	100,000	100,432	2017/11/24	
第485回中部電力株式会社社債	1.77	100,000	100,280	2017/11/24	
第311回中国電力株式会社社債	2.9	100,000	100,234	2017/10/25	
合 計		300,000	300,946		

## ■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 300,946	% 3.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,418,054	96.1
投 資 信 託 財 産 総 額	7,719,000	100.0

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況 (2017年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	7,719,000,526円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	7,415,332,683
公 社 債 ( 評 価 額 )	300,946,000
未 収 利 息	2,721,843
(B)負 債	1,413,811
未 払 解 約 金	1,400,023
未 払 利 息	13,788
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	7,717,586,715
元 本	7,606,795,223
次 期 繰 越 損 益 金	110,791,492
(D)受 益 権 総 口 数	7,606,795,223口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	10,146円

## ■損益の状況 (自2016年9月27日至2017年9月25日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	10,564,469円
受 取 利 息	19,252,387
支 払 利 息	△8,687,918
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△19,396,600
売 買 損	△19,396,600
(C)そ の 他 費 用	△72,211
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△8,904,342
(E)前 期 繰 越 損 益 金	115,183,301
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	284,496,770
(G)解 約 差 損 益 金	△279,984,237
(H)計 (D + E + F + G)	110,791,492
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	110,791,492

- (注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。